

藤林 伸一

令和7年 第1回定例会
予算特別委員会よりQRコードから
議会の映像が
見れます ▶

予防接種事業について

問 带状疱疹ワクチンが令和7年度から定期接種化され、松原市独自の取り組みとして50歳、55歳、60歳の方々に対して任意接種費用の一部助成を行うことになる。その内容についての詳細を教えてください

答 生ワクチンは1回接種で発症予防は70%、持続期間は5年程度になり、費用は7,000円程度です。これに対して1回3,500円の助成となる。不活化ワクチンは2回接種で発症予防は98%、持続期間は10年程度になり、費用は1回20,000円程度です。これに対して1回11,000円の助成となる。

問 案内方法としてはどう考えているのか？

答 4月の広報やポスター等での周知を考えている。

要望 周知の内容について、ワクチン接種の効果を、わかりやすいイラスト等を使用して多くの方々が接種したくなるような工夫をお願いしたい。

商店街・小売市場等
魅力向上事業について

問 商店街が設置する街灯や防犯カメラへの補助を行っているが、特に空き店舗を活用する創業者や事業者への補助について詳細を教えてください。

答 空き店舗を活用する新たな創業者や既存事業者に対して改装費用や家賃の補助を行うことにより商店街の活性化を図っている。令和6年度から開始し現在までで6件の申請があった。

要望 空き店舗の活用に対しては、市内の商店街に限っての事業である。市内商店街では商店会が解散した場所もあり、商店街のみに限定せず、商店街が無い地域へも、この事業を拡充していってほしい。



太田 和之

令和7年 第1回定例会
福祉文教委員会 一般質問QRコードから
議会の映像が
見れます ▶

子どもたちを取り巻く環境の更なる向上を目指して社会情勢が変化を続ける中、「小1の壁」や学童の事など様々な事をお聞きしました。

問 両親の就労などで、幼稚園や保育園など、未就学児では「早朝預かり保育」として大体7:00ごろからの預かりが可能ですが、小学校の開門時間や長期休暇中の学童保育の開始時間を早めることは出来ませんか？



答 (学童) 午前8時30分より前の開始とする場合には、11時間を超える時間をシフトでの勤務となります。現状でも、入室児童の増加や指導員の成り手不足など、体制を確保することに苦慮している状況ですので、開始時間を早めることには、研究が必要と考えています。

問 他市では、学童保育の長期休暇中のみの利用を実施している例があるが、保護者の様々な事情やレスパイトとして松原市でも取り入れることは出来ないでしょうか？

答 長期休暇のみの受け付けを行うと、短期間に指導員等と信頼関係を築けていない児童が多く入室する

ことが予想され、児童の特性に合わせた見守りを行うことが困難となる事や、受入れ態勢を整えることが困難になることから調査研究が必要と考えております。

問 留守家庭児童会室の長期休暇中の配食について、様々超えなければならない課題があることがわかりましたが、保護者の負担軽減も考え、今後前向きに検討して頂けませんか？

答 全国の自治体を見ると有料の配食サービスを導入している自治体もあるため、市としても様々な課題を解決出来るように研究してまいります。

まとめ 現段階では、取入れが難しい施策が多いようですが、一部の方からのご意見であると切り捨てずに、研究を進め、すべての子どもと保護者にとって、他市も羨むような環境の構築をお願い致します。

朗報！



松原市に“病児保育施設”が増えます！
(たけのここどもクリニック)



公明党 —KOMEITO—

第 32 号

松原市議会ニュース

松原市議会公明党議員団

河内 徹 / 依田眞美子
藤林 伸一 / 太田和之
〒580-8501 松原市阿保1-1-1
電話 072-334-1550 (内線 2360)松原市 令和7年度
予算要望に伴う主な実績各小学校体育館に
空調設備新設

各小学校の体育館に空調設備を新設します。

带状疱疹ワクチン、
任意接種への助成

50歳、55歳、60歳へ接種費用の一部を助成します。

介護予防支援きらり
活動事業にアプリを導入

ボランティア活動や健康活動等で獲得するポイントを市内特産品と交換できます。



町会運営の負担を軽減

ワンストップ窓口の開設や町会運営アプリの運用支援等、伴走型支援を行っています。



産後ケア事業の更なる拡充

これまでのショートステイ型やデイサービス型に加え、居宅訪問型を導入します。



防犯カメラ補助事業の拡充

町会等が管理する防犯カメラに係る維持管理経費の補助額が1/2から2/3へ拡充します。

激甚災害への備えとして
備蓄品の更なる充実

令和8年度の運用を目指した新たな防災備蓄センターを建設します。

保育所・幼稚園への
ICT機器導入の拡充

6カ所中、2カ所は導入済み、新たに2カ所が令和7年度に導入を決定しました。



令和7年度 予算要望書を澤井市長に提出!!



67項目にまとめた予算要望書を提出しました。松原市令和7年度予算に多くが反映されました。

11月8日

公明党松原支部主催の献血を開催!!



ご協力して頂いた方々へ感謝の思いでいっぱいです。大阪府では一日に約730人分の血液が必要だそうです。今後も宜しくお願い致します。

2月9日

松原市教育委員会がキャリア教育推進連携表彰を受賞!!



静岡大学との共同開発による「COMPASS」がキャリア教育の取り組みとして文科省、経産省の両省より表彰されました。キャリア教育を推進する公明党議員団も授賞式に参加させていただきました。

2月6日

成人の日記念街頭を松原市役所前にて開催!!



二十歳となられた方1,167名の皆さまへのお祝いと、2025年度予算案に公明党が主張する施策が数多く盛り込まれた内容をご紹介します。

1月13日

公明党 松原支部は、
4名で頑張っていきます！
市政に関することなど
お気軽にご相談ください。

情報と行動で
活力の街に！
河内 徹

あなたに寄り添い、
今日も動く！
依田 眞美子

責任と挑戦で
未来を築いていこう！
藤林 伸一

市民が主役のまちづくり
太田 和之

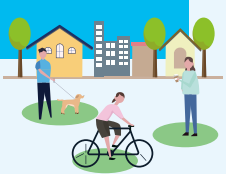
河内 徹

令和7年 第1回定例会
代表質問

QRコードから
議会の映像が
見れます▶



澤井松原市長に質問



問 まちづくりを大きく進めて行く中で、大規模商業施設の建設をはじめ、企業立地促進事業推進、天美駅、高見ノ里駅、布忍駅のバリアフリー、高速道路の高架下を活用したスポーツパークまつばらの建設等、まちづくりについて澤井市長と様々な議論を重ね、二人三脚で進めてきました。セーフコミュニティを中心とした協働の輪を広げる取り組みや、子ども子育てから元希者の皆様まで、きめ細やかな施策を進めてこられました。その成果として、今では転入超過となる選ばれるまちへと変わってきました。澤井市政が思い描くこれからの展望や、今まで進めてきた実績等を踏まえ、お考えをお聞かせください。

答 4期16年間、市民の皆様を支えられ、皆さんに喜んでいただけるまちづくりを進めてきました。今後も、皆様からいただいたご意見を反映させ、今まで築き上げた経験と、新たなまちづくりへ取り組みを押し進め、引き続き市民の皆様との協働により、あらゆる世代の方から松原市を選んでいただける魅力あふれるまちづくりを進めてまいります。

未来カルテを使った逆算の政策づくりについて

問 長期的に人口減少、高齢化が進行する社会がピークを迎えます。「なにもしない未来」を未来予測で示し、「あるべき未来」を検討する必要があるとおもいますが、市としての考えをお聞かせください。



答 本市は総合的なまちづくりの指針である「第5次総合計画」で人口動向等の将来の状況をシミュレートするなど、現状の分析や課題の整理を行い、議員ご指摘の通り、新たなまちづくりの目標を掲げ進めてまいります。

教育の充実及び小中一貫校の取り組みについて

問 常に美濃教育長は、魅力的なまちにするには今の教育より素晴らしい教育にすべきと、多くのことに取り組まれています。例えば日常指導と生徒指導の充実に加えて、情報教育で「SNSノート大阪」の作成、次世代教育でAIM(アドバンストインターンシップ)の取り組みなどがあり、現在試験運用を行っているキャリア教育の教材である「COMPASS」が、国のキャリア教育推進連携表彰において表彰もされました。子どもたちが夢と希望を持ち、将来の自分を想像できる教育こそ「COMPASS」を用いる最大の目的であり、松原市が目指すべき教育の姿だと思います。子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育内容と併せてお聞かせください。



また、施設一体型小中一貫校を今後どのように進めて行くのか、お考えをお聞かせください。

答 「COMPASS」は一言で言いますとタブレット端末で活用できる「キャリア教育版フェイスブック」です。自分は将来どのように生きていくのか、そのためにどんな力をつけ、どう学びを積み重ねていくのか、ということ子どもたちが考える機会を作り出すことができるよう、職業だけに着目するのではなく、個人の「生き方」「価値観」にも焦点をあてるように作られています。このサイトには松原市にゆかりある方々にも登場していただき、子どもたちが「将来、なりたい自分」の姿をイメージできるようなロールモデルを見つけ、アドバイスをもらえることが特色です。今後も試験運用を重ね、令和8年度の本格運用をめざします。将来の予測が困難な社会の中で子どもたちに「生きる力」をはぐくむために(認知能力)と(非認知能力)をバランスよく向上させていく「COMPASS」の取り組みを進めて行くよう準備中です。学力テストのように数値で測れる力(認知能力)と積極性や協調性のように数値で測れない力(非認知能力)をバランスよく向上させるよう、今後も様々な施策に取り組んでまいります。また、新たに「新しいまつばらの学校づくり審議会」を設置し、施設一体型小中一貫校の設置等についての協議を進めてまいります。



高齢者対策に伴う健康予防の取り組みについて

問 これからの高齢者社会にどう対応していくのか、市としても考えをお聞かせください。

答 介護予防支援きらり活動事業をアプリ化することで高齢者自らが楽しみながら人生100年時代を自立して元気に過ごす健康増進事業を進めてまいります。



空洞化調査内容について

問 平成28年11月にJR博多駅前大通りでの陥没事故があり、議会で質問をさせていただきました。その質問を受け、平成30年より3ヵ年続けて松原市において空洞化調査を実施していただきました。その調査内容についてお聞かせください。また今後の空洞化調査については、本年1月28日に埼玉県八潮市でも同様な陥没事故がおり、今回の事故を踏まえ全国的に緊張した空気が流れています。大阪府の規定で行くと10年に一度の調査と言われておりますが、定期



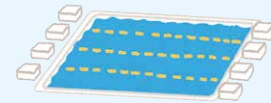
的な調査に変更していただき、市民の命と安全を守る取り組みについて考えて行くべきと思いますがお考えをお聞かせください。

答 松原市内の主要な道路については24kmを調査して、その結果として4ヵ所の空洞ヵ所を補修しました。また、次の調査については安心・安全な道路を維持するため、国の動向を注視しながら定期的な空洞化調査について実施してまいります。

市民プールに対して今後の方向性について

問 昭和61年開設の市民プールですが、平成30年に大規模改修をしております。当時10年もたせたいとの意向があり見守ってまいりましたがあと3年となりました。市民プールに対しての今後の方向性についてどのようにお考えなのか、お考えをお聞かせください。また、大塚運動広場について、公明党として長年にわたり訴えてまいりました。昨年9月議会において、松原市のランドマークとなるような施設に生まれ変わらせていただきたいと訴えさせていただき、市としての取り組みについて前向きな答弁をいただいております。質問より半年しか立っていませんが今の進捗状況をお聞かせください。

答 今までも何度か質問をいただいております市民プールですが、平成30年に大規模改修をさせてい



依田 眞美子

令和7年 第1回定例会
福祉文教委員会 一般質問

QRコードから
議会の映像が
見れます▶



外国籍市民へのコミュニケーション支援について

問 日本語学習パートナー入門講座を始めた経緯は？

答 外国籍市民は10年前より1,600人以上増加。国際広場"もめん"パートナー(ボランティア)として活動をしてもらうため。



問 どのようなコミュニケーション支援をしているのか？

答 国際広場"もめん"・外国人市民サポートネット通訳、通訳サポートの2種類。

問 国際広場"もめん"の経緯と事業内容は？

答 日本語の学習や仲間づくりを目的に国際井戸端会議の場として1996年10月に開設。運営はパートナー(ボランティア)日本語学校ではなく日本語を通してお互いに学び合い生活の情報交換や憩いの場としている。隔週日曜日・毎週火曜日の2会場での開催で学習者のニーズに合わせやマンツーマンやグループ学習などを行っている。

問 外国人市民サポート通訳、通訳サポートの経緯と事業内容は？

答 平成14年松原市人権尊重のまちづくり条例が制定

ただき、安全を第一に考え、市民の皆様にご利用していただいております。市民プールについて本年調査を行い、市としての方向性を明確に判断させていただきます。また、大塚運動広場については、現在土地買収を行っており、開かれた運動広場へと進めて行くよう努めてまいります。

大阪万博で松原市のアピールや観光誘客について

問 大阪万博を絶好の機会ととらえ、万博会場や特設会場等を利用し、松原市のアピールや観光誘客についてどのように工夫していくのか、お考えをお聞かせください。

答 観光協会と連携し、万博期間中にインバウンドの方などの人で賑わう天王寺、難波、梅田エリアでの期間限定のポップアップストアなどを利用し、松原市のPRを図ってまいります。また、観光協会が実施する体験プログラムや納税の返礼品の販売、市内飲食などのクーポン等を配布する取り組みを実施し、少しでも本市への関心を持っていただけるよう努めてまいります。



され外国人の人権擁護の取組から始まり、平成16年からNPOと事業を開始。事業内容は市民協働課が依頼を受けてボランティアコーディネーターが登録ボランティアを派遣し病院診察・妊婦検診・乳幼児健診の同行や幼保・学校での懇談・お便りや献立の翻訳などを行っている。

問 事業の効果や成果は？

答 ボランティアのおかげで事業が継続していること。小中高からの出前授業依頼があり、もめんの学習者とパートナーが講師になり国際理解学習を深めている。また実習生が帰国後、家族と戻ってきて住居を購入したり「住み続けたい」思いで、賃貸から住居購入をされた方々がおられる。

問 今後の展望は？

答 もめんの学習者が通訳ボランティア活動をしてもらえるようになり、支援する側として新規転入者の相談やサポートをしてもらいたい。

要望 これからも『外国人なんでも相談』が外国人籍市民の重層的支援体制となる心強い支援にしていきたい。

